

2022年7月20日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証プライム / 証券コード: 3762)

アーキテクチャ分析ツール「Lattix 2022.1.1 日本語版」の販売を開始

アーキテクチャのメトリクスやルール違反のヒートマップ表示機能を追加。Parasoft C++test と連携し、静的解析の違反件数やカバレッジも表示可能に。分析対象に、Ruby や Python3、Enterprise Architect 16.0 を追加。

テクマトリックス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:由利孝、以下「テクマトリックス」)は、米国 CodeClinic LLC(本社:米国マサチューセッツ州、最高経営責任者:Frank Waldman、以下「CodeClinic 社」)が開発したアーキテクチャ分析ツール「Lattix」の最新日本語版「Lattix 2022.1.1」の販売を、2022年7月20日より開始します。テクマトリックスは、国内総販売代理店として、ソフトウェア開発に携わるお客様を対象に、本製品の日本国内での販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を展開してまいります。

CodeClinic 社のアーキテクチャ分析ツール「Lattix」は、ソフトウェアの構造と依存関係を DSM (Dependency Structure Matrix) を使って可視化するツールの草分けとして、自動車、FA 機器、医療機器、複合機などの製造業をはじめ、金融や情報通信といったさまざまな業界で導入されてきました。巨大化と複雑化に悩まされるソフトウェア開発の現場において、ソフトウェアの構造上の問題検出、コード修正時の影響分析、あるいはリファクタリングなど、多様な目的で利用されています。ソフトウェア品質の評価におけるアーキテクチャ分析の重要性が高まっている現在、「Lattix」は、品質改善に欠かせないツールとして注目されています。

「Lattix 2022.1.1」では、分析結果の重要度を視覚的に表現するヒートマップ表示機能が追加され、優先的に確認・修正すべきモジュールを一目で分かるようになりました。また、Parasoft 社の C/C++ 対応テストツール「Parasoft C++test」と連携し、Parasoft C++test によるソースコードの解析結果を Lattix に取り込む機能が追加されました。Parasoft C++test の静的解析の違反件数やカバレッジのデータをインポートすることで、アーキテクチャ分析と静的解析の2つの観点からソフトウェアの品質を把握できるようになりました。さらに、GitLab などの CI/CD パイプラインに Lattix と Parasoft C++test を組み込み、アーキテクチャ分析～静的解析～テスト～レポート生成といった一連の作業を自動化する仕組みも提供されました。加えて、アーキテクチャ分析の対象に、国内外で需要の高いプログラミング言語 Ruby と Python が追加された他、モデルベース開発で使用されている UML/SysML の解析では、MagicDraw と Enterprise Architect に対する解析が拡張されました。「Lattix 2022.1.1」は、ヒートマップ表示や Parasoft C++test との連携により、さらなるソフトウェアの品質の可視化と継続的アーキテクチャ分析を提供し、ソフトウェアの品質向上活動をサポートします。

【Lattix 2022.1.1 の新機能・改善点】

・アーキテクチャのメトリクスやルール違反のヒートマップ表示機能を追加

アーキテクチャ分析結果のデータを色や濃淡で表現するヒートマップ表示機能が加わりました。ヒートマップでは、これまで、別個に表示されていた情報をメトリクスやルール違反を集約し、縦軸にモジュール/要素を、横軸にアーキテクチャルール違反や、システム安定性、重み付き影響度、Cyclomatic 複雑度などのメトリクスを配置し、色の違いで重要度を表示します。本ヒートマップは、複合的な観点から、影響範囲の確認やテストの対象の優先順位を決めるのに役立ちます。

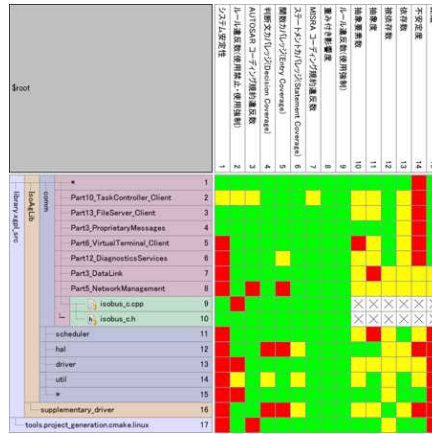


図 1. メトリクスやルール違反数などを色で可視化するヒートマップ表示機能

- Parasoft C++test と連携し、Lattix 上で Parasoft C++test の解析結果を参照可能に。**
 - Lattix のアーキテクチャ分析結果と Parasoft C++test の静的解析結果、テストカバレッジ情報を統合**
 Parasoft C++test の静的解析結果やテストカバレッジ情報を、Lattix のヒートマップに表示できるようになりました。Lattix のアーキテクチャ分析結果に加えて、Parasoft C++test から得られる MISRA、CERT や AUTSAR などの規約違反やテストカバレッジの割合が表示され、アーキテクチャ分析と静的解析の観点からソースコードの修正や再テストの対象を複合的に決定するのに役立つ情報を提供します。
 - GitLab などの CI/CD パイプラインに組み込みレポート生成を自動化**
 Lattix のアーキテクチャ分析から Parasoft C++test の静的解析、テスト、テストカバレッジ計測、レポート生成までを GitLab のパイプラインに Lattix と Parasoft C++test を組み込み、自動化する仕組みが提供されました。また、本機能により、自動車機能安全規格 ISO 26262 Part.6 に対応したレポートの生成が可能になりました。

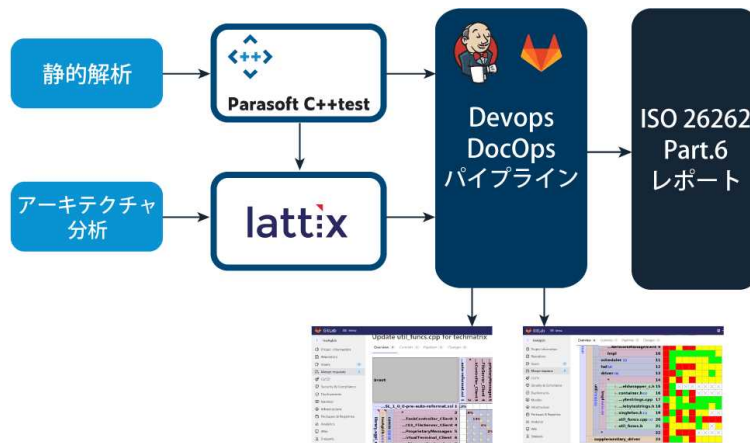


図 2. CI/CD パイプラインに Lattix と Parasoft C++test を組み込み、連携したイメージ

- 分析対象を拡張し、Ruby や Python3、Enterprise Architect 16.0 をサポート**
 国内外で需要の高いプログラミング言語 Ruby と Python が分析対象に追加されました。また、UML/SysML モデリングツールの解析においては、分析対象に Enterprise Architect 16.0 への対応が拡張され、MagicDraw の XMI ファイルのインポート機能の強化が施され、より詳細な解析が行えるようになりました。

<追加されたソースコード分析対象>

- Ruby
- Python3

Press Release

- ・ Python (Understand)
- ・ C/C++ (Parasoft)
- ・ C/C++ (Axivion)

<拡張された UML/SysML 分析対象>

- ・ UML/SysML (Sparx Systems Enterprise Architect) モジュール
- ・ UML/SysML (MagicDraw) モジュール

※詳細は、<https://www.techmatrix.co.jp/product/lattix/> をご参照ください。

- ・ サポートプラットフォーム

Windows 10/2016/2019/2022 (64bit)

Linux (x86_64)

- ・ 分析対象

.NET、C/C++、Java、Python、Ruby、LDI、JavaScript、UML/SysML、Excel、Oracle、SQL (SQL Server)

- ・ 販売開始日

2022年7月20日

- ・ 出荷開始日

2022年7月20日

2022年7月20日において、保守サービスをご契約いただいている「Lattix」ユーザー様には、「Lattix 2022.1.1」バージョンアップ製品を無償でご提供します。

■CodeClinic LLC について

CodeClinic 社は、アプリケーションライフサイクル全般におけるソフトウェア品質およびセキュリティソリューションプロバイダーです。詳細は Web サイト：<https://www.code-clinic.com/> をご参照ください。

■テクマトリックス株式会社について

テクマトリックス（東証プライム：3762）は、最先端の情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」、患者と医師、家族と地域社会を結ぶ医療環境づくりを目指す「医療システム事業」、蓄積されたノウハウを実装したアプリケーションの提供により顧客の課題解決を実現する「アプリケーション・サービス事業」の3事業を展開し、顧客企業のビジネスモデル変革と競争力の強化をサポートしています。

<本件に関するお問い合わせ先>

テクマトリックス株式会社 ソフトウェアエンジニアリング事業部 Lattix 担当

E-mail : lattix-info@techmatrix.co.jp

TEL : 03-4405-7853

*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。